

地域と共に学び地域と共に成長する学校づくりと 地域とのつながりをいかした学校運営の充実

発 表 者 茨城県立石岡特別支援学校学校運営協議会 会長 櫻井 茂幸
茨城県立石岡特別支援学校 教頭 菊池 あけみ

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
茨城県石岡市	238名	令和4年度	10名	3回	0名

学校教育目標

児童生徒一人一人に応じた自立と社会参加を目指し、**地域の資源を最大限に生かしつつ、学校・家庭・地域が協働して**、それぞれの個性や可能性を伸ばす教育を推進して**地域に開かれ、「信頼」と「繋がり」**を大切にする学校を目指す。

学校・地域の特徴

- ・日本百名山「筑波山」を間近に仰ぎ、自然豊かな環境に恵まれた茨城県**石岡市八郷（やさと）**地区に所在
- ・平成31年4月に開校（創立7年目）
- ・知的障害のある児童生徒（小学部、中学部、高等部）238名が在籍
- ・通学区域は小美玉市、石岡市、かすみがうら市、つくば市（旧筑波町）、
- ・「進んで学び、友情を深め合い、健やかな心と体を育む学校」をスローガンに、家庭や地域、関係機関との「**繋がり**」を大切にした教育活動の充実を目指している

学校運営協議会の概要

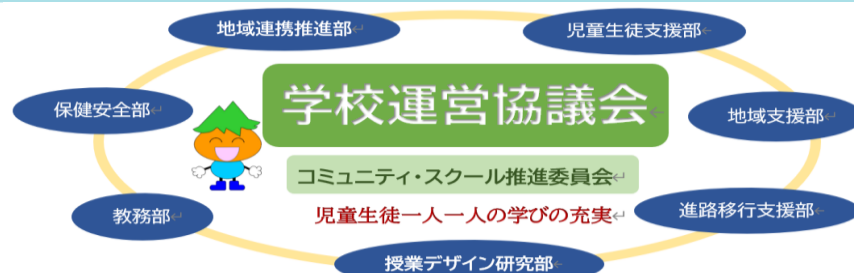
委員の構成

- ・小幡地区区長会長、副会長
- ・株式会社カスミ
- ・いばらきフラワーパーク
- ・石岡市教育委員会
- ・石岡市社会福祉協議会
- ・地元農園
- ・地元古民家カフェ
- ・保護者代表
- ・校長

これまでの主な議題例

- ・学校グランドデザイン及び学校運営について
- ・地域と連携した教育活動の充実について
- ・個々の障害による学びにくさを改善・克服し、主体的な学びを促す授業づくりについて
- ・学校評価

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- 【いばらきフラワーパークでの活動】
- ・清掃活動や製品販売等



- 【地域の農園との連携】
- ・苗植えや収穫体験



- 【地区の方々との交流活動】
- ・グランドゴルフクラブ
 - ・片野排桐ばやし保存会





進んで学び、友情を深め合い、健やかな心と体を育む学校 ～ みんな、いろんなことにチャレンジしてみよう!～

< 学校教育目標 >

校訓
自主 博愛 創造
すすんで
なかよく
すこやかに

児童生徒一人一人に応じた自立と社会参加を目指し、地域の資源を最大限に生かしつつ学校・家庭・地域が協働して、それぞれの個性や可能性を伸ばす教育を推進して地域に開かれ、「信頼」と「繋がり」を大切にする学校を目指す。



かきまる
(マスコット・キャラクター)

目指す学校像

- ・ 一人一人の学びを大切にする学校
- ・ 安全・安心な学校
- ・ 地域・家庭との繋がりを大切にする学校

目指す児童生徒像

- ・ すすんで学ぶ子
- ・ 友だちとなかよくできる子
- ・ すこやかに生活できる子

目指す教師像

- ・ 授業を大切にし、学び続ける教師
- ・ 一人一人に寄り添い、可能性を引き出す教師
- ・ 豊かな人間性と社会性を身につけた教師

安心プラン

1 安全・安心で温かな教育環境づくり

- ア 一人一人が安心して学習や生活できる教育環境づくりの推進
- イ 道徳の授業を中心とした豊かな心の育成、児童生徒支援体制の強化
- ウ スクールコンプライアンス意識の高揚

学びプラン

2 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくり

- ア 主体的な学びを促す授業実践研究の推進(専門家との連携、自立活動の指導の充実)
- イ 生活に結び付く確かな学力定着を図る学習指導・支援の充実(適切な学習評価、ICT活用)

繋ぐプラン

3 地域や関係機関との連携によるキャリア教育の推進

- ア 卒業後の生活に必要な社会生活能力の着実な育成
- イ 地域の特色をいかした教育活動の展開と交流及び共同学習の推進(コミュニティ・スクール)

連携プラン

4 地域の特別支援教育の充実に寄与するセンタースタッフの強化

- ア 市教育委員会や学校等との連携強化による特別支援教育に関する助言・援助の充実
- イ 学校公開や研修会等をとおした特別支援教育に関する情報の積極的な発信

いばらきフラワーパークでの活動

高等部
「宿泊を伴う共同生活学習」



高等部「職業科（実技）」
清掃活動



高等部「職業科（実技）」
販売活動



高等部「職業科（実技）」
カフェ準備



中学部「職業・家庭科」
押し花づくり

地域住民との交流活動



小学部「生活科」
収穫体験

中学部「特別活動」
グランドゴルフでの交流会



中学部「社会科」
地域の伝統文化の学習





令和7年度 茨城県立石岡特別支援学校 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

テーマ

地域と共に学び地域と共に成長する学校づくりと地域とのつながりをいかした学校運営の充実

地域連携推進部

- ・交流及び共同学習
- ・地域貢献活動
- ・きらめきサポーター活用
- ・学校通信の発行
- ・PTA 活動
- ・外部作品展への参加
- ・部活動

地域支援部

- ・特別支援教育のセンター的機能
- ・学校説明会
- ・体験入学
- ・関係機関との連携
- ・教育相談
- ・巡回相談

ICT 活用推進部

- ・ICT 教育の推進
- ・ホームページ運用
- ・地域への情報発信

保健安全部

- ・児童生徒の健康や生活習慣の育成
- ・教育環境整備
- ・学校防災計画
- ・安全・安心な食育推進
- ・地域防災組織、関係機関との連携

教務部

- ・カリキュラム・マネジメント
- ・学習指導・支援
- ・校外学習
- ・体験学習
- ・学校行事

進路移行支援部

- ・現場実習
- ・職場体験
- ・移行支援
- ・関係機関との連携

授業デザイン研究部

- ・校内研究
- ・研究発表会
- ・授業公開
- ・小中学校等への情報発信



学校運営協議会

地域の代表の方々

- ・いばらきフラワーパーク
- ・(株)カスミ
- ・岡野ファーム
- ・JA やさと
- ・くろねこ農園
- ・下青柳地区区長
- ・石岡市教育委員会
- ・石岡市社会福祉協議会

保護者

- ・PTA 会長
- ・学校長

児童生徒一人一人の学びの充実

児童生徒支援部

- ・道徳教育、人権教育
- ・児童生徒会活動
- ・花いっぱい運動
- ・通学支援、交通安全教室
- ・関係機関との連携



学校運営協議会(3回開催)

第1回

5/29

「地域とのつながりをいかした学校運営について」

- ◇全体会
- ・学校運営協議会の趣旨について
- ・今年度の学校運営について 等
- ◇施設見学、授業参観
- ◇熟議

第2回

12/11

「子どもたちの学びの充実にむけた授業づくりについて」

- ◇全体会
- ・地域と連携した授業づくりについて
- ・センター的機能の実践について
- ◇授業参観
- ◇熟議

第3回

2/20

「地域とのつながりをいかした取り組みについて」

- ◇全体会
- ・児童生徒による発表
- ・学校評価について 等
- ◇熟議

学校の主な取組

■コミュニティ・スクール推進委員会

- ◇学校運営協議会前に実施
- ・会議内容の運営等に関する検討及び共通理解
- ◇必要に応じて実施
- ・地域とのつながりをいかした取組等に関する協議

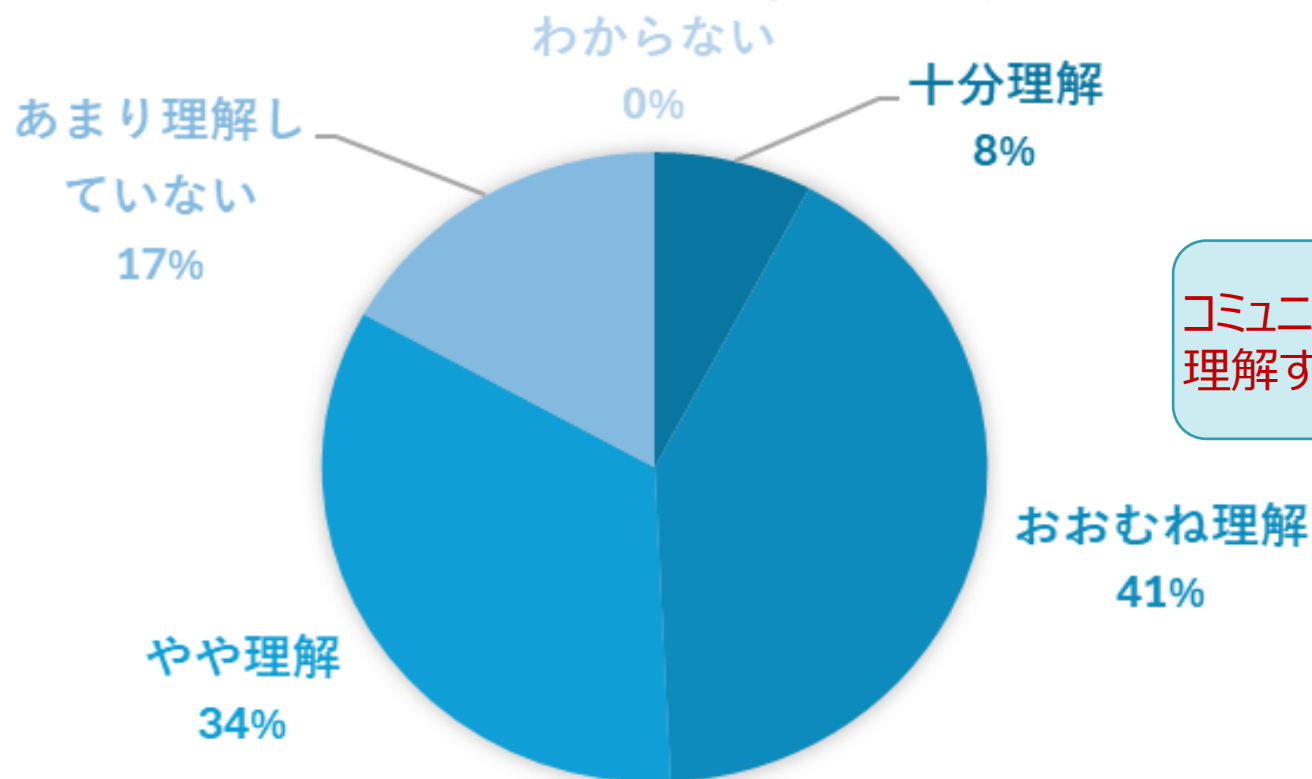
■職員への意識調査

- ◇コミュニティ・スクールについての意識調査(アンケート)

コミュニティ・スクールについての教職員アンケート

令和6年4月実施

コミュニティ・スクールへの理解



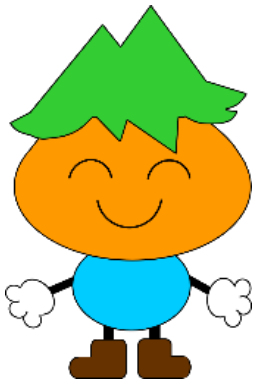
コミュニティ・スクールの取組について
理解することが必要だね！



コミュニティ・スクール研修会の実施

講師：三鷹市教育委員会総括スクール・コミュニティ推進員
四柳 千夏子先生

演題：「コミュニティ・スクールの可能性」
～これからのコミュニティ・スクール～



導入 3 年目で改めて研修会を実施
本校教職員のほかに**学校運営協議会委員**
も参加したよ。



コミュニティ・スクール研修会の成果

教職員の感想

- ・地域の課題、学校の課題を共有して、一緒に学んだり解決できるといい。
- ・これまで自分なりに理解していたコミュニティ・スクールからより一層アップデートできた。
- ・地域と学校との温度差をなくすためには、話し合いの場が必要
- ・地域学校協働活動において、どんなことができるのかわからない職員もいるため、本日の演習のように情報を共有したり担任の思いを吸い上げたりする場があると効果的だと感じた。
- ・「地域共生社会」という壮大な目的にとらわれず、「子供達の学びになっているか」に目を向けるということが印象に残った。

学校と地域の相互理解の場（熟議）は重要だね。

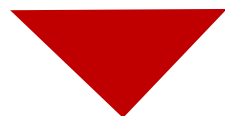


学校運営協議会委員の感想

- ・まず、人を介しての話し合い。相互理解から一緒にビジョンを作り上げることが大切
- ・継続性のための仕組みも必要。そのためには、人が変わっても地域を考え続けるための「振り返り」「整理」して「ブラッシュアップ」の機会が必要と感じた。
- ・現場の先生方からも意見をいただき、具体的な取り組みにつなげたらより良い取り組みになると感じた。

コミュニティ・スクール研修会の成果

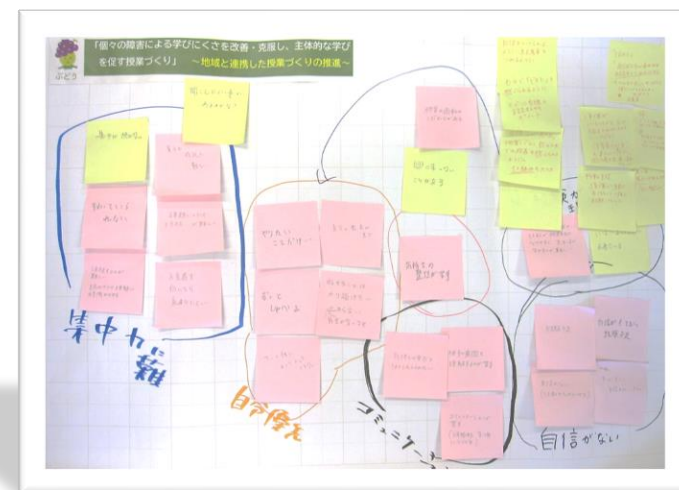
相互理解の場（熟議）の重要性



第2回、第3回の学校運営協議会
での熟議の変化

グループ協議への学級担任の参加

- ➡・地域と学校の課題の共有
- ・活動の振り返りと整理
- ・活動内容のアップデート



グループでの熟議の記録

研究テーマ

各教科と自立活動との関連を図った主体的な学びを促す授業改善の在り方

R5

R6

課題①

根拠ある授業改善への基礎固め

知的障害教育での「育成を目指す資質・能力」を踏まえた各教科の指導目標の設定・適切な学習評価の在り方の理解とそれに基づく授業実践の蓄積

【R5.5～6】

講義（筑波大学准教授）

「学習指導要領の考え方を踏まえた各教科の目標設定及び学習評価の在り方」

演習①②（特教課指導主事等）

「個別の指導目標設定・適切な学習評価」

知的障害の特性等に応じた個別の指導目標・手立ての設定
→適切な学習評価→根拠ある授業改善へ

- ・各教科の年間指導計画への反映
- ・個別の指導計画（個別の指導目標→学習評価）への反映



課題②

主体的な学びを促す授業デザイン力の向上

各教科における障害による困難を主体的に改善・克服するための自立活動の指導との関連を図った授業改善の在り方

【R5.8～R6.1】

授業改善の見える化

（動画による振り返り、授業評価シート）

<実践研究Ⅰ>

講義・演習A～C（文教大学准教授 等）

各教科における
障害による困難
の精査

自立活動の
指導の焦点化
・適正化

各教科での
学びの改善
・充実

【R6.3】

中間まとめ

【R6.11】

<実践研究Ⅱ>

※実践研究Ⅰの
授業デザイン
手法の深化
（システム化）

実践研究発表

障害の状態等に応じた主体的な学びを促す根拠ある授業展開

特別支援学校としての授業力向上
（校内研究体制の維持・向上）

センター機能での発揮
（特別支援教育の充実）

基礎として
課題①の理解を

学校運営協議会委員の授業デザインへの参加

授業動画の視聴

- ・各教科等の授業
- ・自立活動の授業



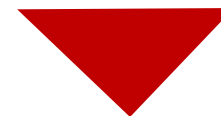
- ・児童生徒の実態の把握
- ・授業づくり
- ・実態の変容



学校運営協議会委員の授業デザインへの参加



「授業評価シート」を活用
して授業評価を実施



- ・授業の流れ
- ・授業づくりのポイント

学校運営協議会委員の授業デザインへの参加

授業づくり、校内研究への理解

- ➡・児童生徒の実態に応じた授業の工夫
- ・職員同士の学び合い

研究への参加は、委員にとっても新鮮だったみたいだよ。
特別支援教育への理解が深まったね。

自立活動の理解

- ➡障害がある子どもたちの学びにくさ



学校運営協議会委員の授業デザインへの参加

委員からの意見

- ▲ 自立活動の目標はどのくらい期間を考えて設定？
- ▲ 授業動画の撮影や編集など職員の負担になってない？
- ▲ 研修時間はどのように確保？

委員

特別支援教育の理解
障害特性への理解

教職員

学校運営の振り返り
教育課程や授業の説明責任

カリキュラムマネジメント、社会に開かれた教育課程

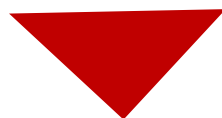
学校を中心にした「繋がり」の大切さ

人と人との繋がり

- ・相互理解の大切さ
- ・熟議の重要性

地域との繋がり

- ・児童生徒の理解
- ・教育課程、教育内容の理解
- ・地域の課題の理解



地域での子どもたちの育成、地域創造

学校運営協議会を中心に
学びの輪、地域の和。未来へ
繋いでいきます！

